

SPEAK NATURAL ENGLISH

～Japanese English あるある～

はしがき

私はスティーブン・ミッチェルと申します。米国カリフォルニア州ロサンゼルスで生まれ育ち、やがて2000年に日本にやってきました。以来宮城県仙台市に暮らしております。2001年に、CHEERS という語学学校を英国人の友人と共同創立しました。そこで、何千回もの英語の授業を通して、あらゆる年齢層の英語を学ぶ人たちを支援してきました。また私なりに、細やかな心配りをもって独自の教授法の開発に努めて参りました。

おかげさまでCHEERSは、2004年に、宮城県教育委員会主催の日本人の英語教員のための研修会の運営に携わるよう依頼を受けました。4年間にわたり、600名を超える中学校、及び高等学校の英語教員と研修を行い、彼らが生徒を中心にして、効果的にコミュニケーションの力を高める授業を展開するための支援を行いました。

2009年には、CHEERS は初めて、全国の高等学校で使用する文部科学省検定済教科書「ATLANTIS Oral Communication I」を出版し、私は、文部科学省の教科書検定の歴史において、外国人として初の筆頭著作者としてその名を刻む栄誉を得ました。それ以来、CHEERS は、多くの教科書を出版し、それらは現在、日本全国の何百もの公立、及び私立高等学校において使われています。

これらの教科書は、教師たちに語学学習の新しい取り組み方を提示し、文部科学省の高等学校学習指導要領の目指すところの一助となっているものと思っております。

さて、「Speak Natural English」は扱われる題材の収集に18年をかけたものを、一冊の本に書き上げました。CHEERS において私は、何千人もの生徒と授業を行い、その出会いを通して、日本の人々、彼らの文化やその言語について多くのことを学ぶことができました。一方で、英語に関しては、不自然な表現や、文法的な誤り、誤った文の強勢といった、生徒がよく陥る幾つかの共通の間違いに気付きました。

「Speak Natural English」は、日本人の英語学習者が抱える最も典型的な誤用の例について取り上げています。この本を読み終えた読者のみなさんが、以下の4つの点について理解を深めていただけるように、内容を整理しました。

1. 自然な英語を使用すること
2. よくある間違いを避けること
3. つまづきやすい文法を理解すること
4. 適切な語に強勢を置くこと

さらに、本書の所々に練習問題を用意しましたので、理解を深めるために取り組んで見てください。巻末に解答集が付いています。

近年日本には多くの外国人観光客や外国人労働者がかつてない勢いで増えており、そうした方々と英語を介して意思疎通をはかる必要性も急激に高まっていると感じます。さらに2020年には、日本の各地でオリンピックが開催され、多くの外国人との交流がますます盛んになることと思います。この本を通して、日本人の英語学習者が一つでも二つでも正しく自然な英語を話すことに理解を深め、スムーズな意思疎通のもと、国際交流を楽しむお役に立てれば幸いです。

最後に本書の編集にあたり、焦点がきちんと絞り切れていなかった私の原稿に明確な方向性を与えてくださり、上梓にいたるまで粘り強くご指南いただいた佐川和之氏に心より感謝申し上げます。

2020年 初夏

スティーブン・ミッチェル

目 次

はしがき

Japanese English あるある

- 1 I live in Sendai City.
- 2 The food was very delicious.
- 3 I will go to Tokyo tomorrow.
- 4 so-so
- 5 My hobby is listening to music.
- 6 Let's challenge.
- 7 I am a first grade high school student.
- 8 I belong to the English club.
- 9 We live in a mansion.
- 1 0 What is your job?
- 1 1 We study English conversation.
- 1 2 I want to buy new wears.
- 1 3 The customers claimed our service.
- 1 4 We tripped to Italy.
- 1 5 I play skiing.
- 1 6 How do you think about it?
- 1 7 Japan is a safety country.
- 1 8 I have many works to do.
- 1 9 I was fun.
- 2 0 I'll back my home.

Japanese English あるある

- 2 1 My son is going to enter university soon.
- 2 2 Can you borrow me a pen?
- 2 3 I'll see you after one week.
- 2 4 I have ever been to France.
- 2 5 Today is my holiday.
- 2 6 We went to shopping.
- 2 7 I came here by my car.
- 2 8 I quitted my job.
- 2 9 Do you hope it?
- 3 0 I wish I can find a good job.
- 3 1 I was stolen by bike.
- 3 2 My wife is a housekeeper.
- 3 3 A friend presented me this pudding.
- 3 4 I am boring.
- 3 5 Don't use your phone during driving.
- 3 6 I have been to Tokyo last week.
- 3 7 I want to marry with a foreigner.
- 3 8 I'll wait you outside.
- 3 9 I cleaned my room.
- 4 0 I drink two or four cups of coffee a day.

Japanese English あるある

- 4 1 I like you. Because you are nice.
- 4 2 You are so talented person.
- 4 3 My car was broken.
- 4 4 I go to Yamagata once two weeks.
- 4 5 I'm going to meet my friend tomorrow.
- 4 6 I want some fried potatoes.
- 4 7 Where did you go on Sunday?
- 4 8 When I was high school, I lived in Tokyo.
- 4 9 My father is a cooker.
- 5 0 My favorite music is pops.
- 5 1 Don't mind.
- 5 2 Yesterday, I choiced the color.
- 5 3 Open / Close
- 5 4 Influenza is popular.
- 5 5 Please visit our homepage.
- 5 6 I usually go to bed at 1:00 in the morning.
- 5 7 The store closes at 21:00.
- 5 8 I work hardly.
- 5 9 We are going to reform our house.
- 6 0 My birthday is on October 31th.

Japanese English あるある

- 6 1 Summer Time
- 6 2 I don't like to wear pierce.
- 6 3 This is a Viking restaurant.
- 6 4 Take care your health.
- 6 5 I have three families.
- 6 6 Almost Japanese people have mobile phones.
- 6 7 Most of Americans have guns.
- 6 8 We should to go home.
- 6 9 I'm going to visit Swiss.
- 7 0 Please speed down.
- 7 1 We have a three years old boy.
- 7 2 The concert was two hours half.
- 7 3 We were in the bus.
- 7 4 I got Taylor Swift's sign.
- 7 5 I caught a cold last week.
- 7 6 When he was young, nobody could image Barak
Obama as president.
- 7 7 I went to Hakone on last Sunday.
- 7 8 I bought this dress at Mitsukoshi department.
- 7 9 Sorry, I mistook.
- 8 0 Hang in there.

Japanese English あるある

- 8 1 Excuse me, where is the toilet?
 8 2 Steven Teacher
 8 3 Shinagawa Ward is south of Tokyo.
 8 4 Many people were died in the disaster.
 8 5 Many my friends came to the party.
 8 6 We went to the mall for buying new shoes.
 8 7 I want to lose my weight.
 8 8 My Canadian host family was kindly.
 8 9 I need 30 minutes to make up my face.
 9 0 I have much time tonight.
 9 1 I like to watch love comedies
 9 2 We need more two hours.
 9 3 Police officers ride in a patrol car.
 9 4 What is your hobby?
 9 5 a/the
 9 6 The train had left.
 9 7 I had been sleeping for an hour when the earthquake hit.
 9 8 I bought a NEW car. (強勢)
 9 9 CATS like FISH. (強勢)
 1 0 0 We CAN'T stay. (強勢)

Answer Key

- 1 私は仙台市に住んでいます。

I live in Sendai City. (×)

日本語では、「仙台市」は自然な言い方ですので、それを英語に直すと ‘Sendai City’ になると思うかもしれませんが、これは誤りです。しかし、‘Akita City’ や ‘Fukushima City’ は正しい言い方です。なぜでしょう？下記の都市を見てください。なぜ ‘City’ という語を付ける必要がある都市もあれば、付ける必要のない都市もあるのかがわかりますか。

Sendai City (×)	Akita City (○)
Sapporo City (×)	Fukushima City (○)
Naha City (×)	Kumamoto City (○)

なぜ Akita City や Fukushima City という言い方が許容されるかというと、秋田県や福島県という語も存在するからです。つまり、市について話しているのか、県について話しているのかをはっきりさせるために、‘City’ と言う必要があるのです。しかし、仙台県や札幌県は存在しませんので、‘City’ という語は必要ないのです。例えば、アメリカでは、シカゴ州が無いために ‘Chicago City’ とはいませんが、‘New York City’ と言うのは、ニューヨーク州もあるからです。

さらに、‘Matsushima Town’ や‘Ohira Village’ なども、英語では正しくありません。‘City’、‘Town’、‘Village’ などと言いたければ、このようにしてください。

the city of Sendai

the town of Matsushima

the village of Ohira

Drill 1

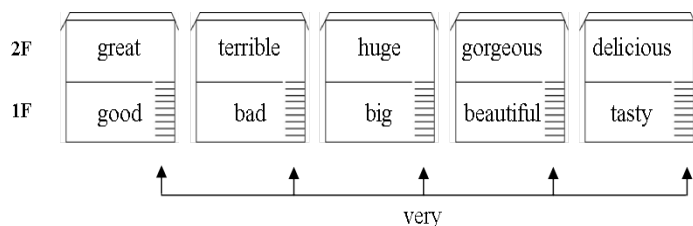
‘City / Town / Village’ の語の使い方が誤りなら、線で消しましょう。 さらに、それらの誤りをどのように訂正できますか。 下線部に書いてみましょう

1. Fukuoka City _____
2. Nagoya City _____
3. Asahi Town _____
4. Tokai Village _____
5. Yamagata City _____
6. Hirosaki City _____
7. Hakone Town _____
8. Shirakawa Village _____

2 その食べ物はとてもおいしかったです。

The food was very delicious. (×)

上の文が、なぜ不自然なのかを理解するためには、‘very’という語を理解する必要があります。それは「～以上」を意味します。‘very good,’と言うときは、良いという水準以上を意味するということです。次に下の2階建ての家の図を見てください。



1階には、‘good’, ‘bad’, ‘big’, ‘beautiful’, や‘tasty’といった基本となる形容詞が住んでいます。もし、こうした語を強調したければ、2階へと続く、(very) という階段を使う必要があります。

こうして、‘very good’は‘great’になり、‘very bad’は‘terrible’、‘very big’は‘huge’、‘very beautiful’は‘gorgeous’、そして‘very tasty’は‘delicious’になります。しかし、3階へと続く階段 (very) はないことに気付いてください。なぜかという‘great’、‘terrible’、‘huge’、

‘delicious’、‘gorgeous’などが表す水準を上回る形は無いからです。このことから、‘very delicious,’ ‘very gorgeous,’ などと言うことは不自然になります。一方で、‘really’や‘so’といった語は「～以上」を意味するものではありません。むしろ、それらは話し手があることについて、強い感情の主張を持っていることを示しているのです。これらの語は「どうぞ私の言うことを信じてください」と言うのと似ています。

The food was really delicious.

あの食べ物が本当においしかったわ。

(どうぞ私の言うことを信じてください)

Lisa is so gorgeous.

リサは本当にすてきな人だわ。

(どうぞ私の言うことを信じてください)

ですから、‘really’と‘so’は1階に暮らす形容詞、2階に住む形容詞のどちらとも用いることが可能です。そう、‘really delicious’や‘so gorgeous.’と言うことができるのです。もう一つ、注意してほしい語は‘fun’です。この語は1階に住む基本となる形容詞のようにみえるかもしれませんが、実は2階に暮らしているのです。そうになると、‘very fun’と言うことはできません。しかし、‘really fun’や‘so fun’とは言えるのです。

15

Drill 2

誤りを訂正して、空所に全文を書きましょう。

このケーキはこの上なくおいしいわ。

1. This cake is very delicious.

今日の天気はとてもわるいです。

2. The weather today is so terrible.

あなたのダイヤモンドの指輪はすばらしいわ。

3. Your diamond ring is very gorgeous.

そのお屋敷はとても巨大です。

4. The house is very huge.

16

私たちの新車は本当に素晴らしいものです。

5. Our new car is really great.

そのコンサートはすごく楽しかったです。

6. The concert was very fun.

3 私は明日東京に行く予定です。

I will go to Tokyo tomorrow. (▼)

上記の文は、文法的には正しいのですが、あなたが思うほど自然なものではありません。たいてい、英語を母国語とする話し手は ‘will’ は、まだ決定されていない未来のできごとについて話す時に用います。下にあるものが、‘will’ の典型的な使い方です。

A: What are you going to have for dinner tonight?

今夜の夕食は何を食べる予定なの？

B: I'm not sure. Maybe I'll have pasta.

わからないなあ。おそらくパスタを食べようかな。

この会話では、B はまだ夕食に何を食べるつもりか決めていません。彼はパスタを食べるかもしれないし、何か他のものを食べるかもしれません。既に決定されている未来の用事については、英語を母国語とする話し手は、通常、‘be’+‘going to’ を用います。ですので、冒頭にある文の最も自然な言い方は、“I am going to go to Tokyo tomorrow.” となります。

Drill 3

‘be’+‘going to’ を用いて、下の文をより自然なものにしましょう。

うちの家族は今年の秋にハワイを訪れる予定です。

1. My family will visit Hawaii this fall.

わたしたちは出発前に、新しいカメラを買うつもりです。

2. We will buy a new camera before we leave.

ハワイで、私はサーフィンの講習を受ける予定です。

3. In Hawaii, I will take surfing lessons.

私の姉（妹）は毎日、買い物に出かけるつもりです。

4. My sister will go shopping every day.

追記

未来の予定に関する質問をするときは、‘will’ を使わないほうが無難です。例えば、“How long will you stay in Hawaii?” と尋ねるのは、不自然さが増すものです。そのような場合は、‘be’ + ‘going to’ を使うほうがいいです：“How long **are you going to** stay in Hawaii?”

4 まあまあ

SO-SO (×)

私に「週末はどうでしたか」と尋ねられたとき、多くの生徒たちが、‘So-so’ とよく答えていました。たとえ彼らの週末が楽しいものであったとしてもです。生徒たちは ‘so-so’ は、‘まあまあ’ と同じ意味だと思っていることがわかりました。英語の辞書では ‘so-so’ を、良くも、悪くもないと定義していますが、多くの英語を母国語として話す人々にとって ‘so-so’ は、良いことを伝える語だという印象はありません。例えば、誰かが、私に、先週私が観た映画はどうだったかと尋ね、私が ‘so-so’ と言えば、それは、私はその映画をそれほど楽しんだわけではないので、誰かに薦めるつもりはないということを暗に伝えているのです。一方で、もし私が、日本語で、「その映画は、まあまあでした」と言えば、それはいくらか肯定的な気持ちを、含むことになるでしょう。ですので、私は ‘so-so’ と ‘まあまあ’ を次のように説明するでしょう。

まあまあ

(平均)

SO-SO

英語で ‘so-so’ よりも、より肯定的な気持ちを表したいなら、“Not bad./Pretty good.” と言うことができます。

Drill 4

空白に ‘so-so’ または ‘not bad’ と書きましょう。

そのレストランのメニューは気に入りませんでした。

それほど良くなかったんです。

1. I didn't really like the menu of the restaurant.

It was _____

雰囲気はまあまあ良かったです。悪くありませんでした。

2. The atmosphere was pretty good. It was _____

ホテルのサービスは良かったです。悪くありませんでした。

3. The service at the hotel was O.K. It was _____

でも、私たちの部屋は小さかったです。それほど良くはなかったです。

4. But our room was small. It was _____

追記

‘so-so’ は主に ‘How’ で始まる疑問文に答えるのに用いられるべきです。ここに、‘so-so’ を使って答えることが可能な、いくつかの疑問文をあげています。

1. How was your weekend?

(あなたの週末は、いかがでしたか。)

2. How is your new job?

(あなたの新しい仕事はどうですか。)

3. How was the concert?

(そのコンサートはいかがでしたか。)

一方、もし誰かが “Did you have a good weekend?” のような ‘yes/no’ 疑問文を尋ねても、‘so-so’ は使用できません。なぜなら、‘so-so’ は ‘good’、‘OK’、‘bad’ などと同じ使い方をするものだからです。私たちは、 “Did you have a good weekend?” の質問に、 “Good.” で答えることはしないでしょ。 “Yes, I did, / No, I didn't.” というでしょう。ですから、たいていは、 ‘How’ で始まる疑問文に答える場合に、 ‘so-so’ を使いましょう。

5 私の趣味は音楽を聴くことです。

My hobby is listening to music. (▼)

はじめに、‘hobby’ と「趣味」とは必ずしも同じではないということを理解することが大切です。日本語では、ほぼどんな活動でも「趣味」に成り得ます。例えば、映画を観ることや、音楽を聴くことが「趣味」とみなされることがあります。しかし、英語では、ある活動が1つの趣味になるためには、通常、次の2つの条件を兼ね備える必要があります。

1. 能動的であること 2. 創造的であること

典型的な趣味の1つは絵を描くことです。それは作業をするために、あなたの手を使っていますので、能動的ですし、創造的です。何色を使って、何を描くかなどを選ばなければならないからです。何気なくTVを見たり、音楽を聴いたりすることは受動的で創造的ではありません。ですので、多くの人々に本当の意味で趣味とみなされるわけではないのです。もし、音楽を聴くことがあなたの楽しみならば、単に “I like / enjoy listening to music.” と言えればいいのです。

Drill 5

趣味である活動には✓を、そうでないものには×と記しましょう。

映画を観ること

1. watching movies ____

模型の船を組み立てること

2. building model ships ____

切手を収集すること

3. collecting stamps ____

宝飾品を作ること

4. making jewelry ____

野鳥観察に出かけること

5. going birdwatching ____

眠ること

6. sleeping ____

追記

何気なく音楽を聴いたり、映画を見たりすることは、趣味ではありません。なぜなら、これらの活動は受け身のものだからです。とは言え、もしあなたが主体的に音楽を聴いたり、映画を見たりするのなら、こうしたものが、趣味になるかもしれません。例えば、もしあなたが鑑賞した映画について、他の人々と意見を交わすブログを持っているとしたら、映画を見ることは、1つの趣味になり得るでしょう。同様に、もしあなたが、CDや、(レコード、CDなどの) 全集を集めたり、歌の目録を作るなどすれば、音楽を聴くことも、また趣味と見なされることも可能でしょう。覚えておいていただきたいのは、趣味とは、主体的で、創造的なものであるということです。

6 やってみましょう。

Let's challenge. (×)

日本人はよく“Let's challenge.”と言います。この場合、‘challenge’は動詞として用いられています。しかし、英語を母国語として話す人々は、この語をどのように使うと思いますか？

自然な一文は、“Climbing Mount Everest is very challenging.” (エベレスト山に登ることは挑戦しがいのあることだ。) です。ここでは、‘challenging’は、形容詞として使われています。もう1つ自然な文をあげれば、“Climbing Mount Everest is a big challenge.” (エベレスト山に登ることは、大きな挑戦だ。) です。ここでは、‘challenge’は、名詞として使われています。英語では、形容詞形(challenging)と名詞形(challenge)がこの語を最も自然に用いる2つの方法です。英語を母国語として話す人々にとって‘challenge’の動詞形は誰かと競うことを意味します。“I challenge you to a race.” (僕は試合で君と競う。)” “I challenge you to a game of chess.” (私はチェスの試合であなたに挑む。) このことの意味は、日本語の‘Let's challenge.’とは違います。“Let's challenge.”と言う代わりに、日本の人々が言うべきなのは、“Let's try.” (やってみましょう。) です。“Let's try to do this exercise.” (この課題をやってみよう。)

“The homework looks hard, but let’s try it anyway.”

(宿題は難しそうだけど、とにかくやってみよう。)

“Let’s try to speak only English today.”

(今日は英語だけで、話すようにしてみよう。)

というように話しましょう。

Drill 6

下の文を自然なものにしてください。

宿題をやってみましょう。

1. Let’s challenge the homework.

私はスペイン語を習ってみたいです。

2. I want to challenge learning Spanish.

7 私は高校1年生です。

I am a first grade high school student. (×)

英語でいうところの1学年に属している高校生というものは存在しません。日本での学年は次のような英語に相当します。

1st/2nd/3rd/4th/5th/6th grades = 小学校

7th/8th/9th grades = 中学校

10th/11th/12th grades = 高等学校

したがって、高校1年生は“I am in the 10th grade,”とすることができ、中学1年生に対しては、“I am in the 7th grade.”と言えます。国によっては、中学校は6学年から8学年までで、高校は9学年から12学年までに当たるということもありますが、やはり、高校1年生を **first grade** というのは誤りであるという事実には変わりはありません。しかし、その生徒を、高校に入学して1年目／2年目／3年目になるという言い方はできます。大学生については、‘grade’という語を用いることはできません。むしろ、‘year’という語を使うべきです。“I am a 1st/2nd/3rd/4th year university student.”と言います。

その後は、“I am a master’s student/PhD student.”とすることができます。A ‘graduate student’ はこれら（修士、博士）の両方を表すことができます。

Drill 7

誤りを正しましょう。

私は中学2年生です。

1. I am a second grade junior high school student.
-

私は大学3年生です。

2. I am a third grade university student.
-

8 私は英語部に入っています。

I belong to the English club. (▼)

ある団体や会社に所属するという考えは、おそらく日本ではよくあることでしょう。例えば、働く人々は時々、「私は会社の者です。」と言います。しかし、アメリカでは、通常人々は仕事や学校の場において、このような考え方はしません。学校の部活動については、自然な英語は **“I am in the English club.”** です。おわかりのように、**‘be’** 動詞が使われています。

例えば誰かに、その人の高校時代について尋ねたければ、**“What club were you in when you were in high school?”** と言います。運動部に関しては、アメリカの生徒たちは、**“I am on the basketball team.”** または、**“I am on the soccer team.”** などと言います。前置詞の違いに注意してください。文化部には **‘in’**, 運動部には **‘on’** を使用してください。

Drill 8

より自然な文に直しましょう。

私は茶道部に入っています。

1. **I belong to the tea ceremony club.**

私たちは吹奏楽部に入っていない。

2. **We don't belong to the brass band club.**

あなたは陸上部に入っているのですか？

3. **Do you belong to the track and field club?**

ジョンは、バスケットボール部に入っています。

4. John belongs to the basketball club.
-

千恵子は、科学部に入っていない。

5. Chieko doesn't belong to the science club.
-

直美は、演劇部に入っていますか。

6. Does Naomi belong to the drama club?
-

- 9 私たちはマンションに住んでいます。

We live in a mansion. (×)

この場合おそらくあなたは、アパートに住んでいます。英語では、マンションは、プールやテニスコートや、5台分の車庫付きといった広大な個人の邸宅（屋敷）のことです。通常、映画スターや、会社の取締役や、インターネットで富と社会的影響力を得た人のような裕福な人々だけが手に入れることができるものです。一般の人々は戸建て住宅かアパートのいずれかに住んでいます。アパートに住んでいるとすれば、その新旧、大小や、エレベーター付きかどうかなどは問題ではありません。それは単に1つのアパートです。建物自体が 'apartment building' と呼ばれていて、各個人の世帯は 'apartments' と呼ばれます。中には、'condominium' や 'condo' に住んでいるという人々もいます。これは、（賃貸ではなく）購入したアパートを意味します。

Drill 9

日本語の意味に応じて、誤りを正しましょう。

私たちは新しいアパートに引っ越すつもりです。

1. We are going to move to a new mansion.

私の父は、マンションを購入しました。

2. My father bought a mansion.

ビル・ゲイツは大邸宅に住んでいます。

3. Bill Gates lives in a mansion.

うちのマンションは、32世帯あります。

4. My mansion has 32 units.

- 10 あなたの仕事は何ですか。

What is your job? (×)

上記の質問は、不自然です。英語を母国語とする話し手は、十中八九、こうは言わないでしょう。自然な英語を話すために、あなたは、心の中で、日本語でこう思うべきです。「あなたは、何をされている方ですか。」英語によるこの質問の最も自然な尋ね方は “What do you do?” です。下の2つの会話を見てください。

A: What do you do?

あなたは、仕事は何をしていますか。

B: I am a doctor.

私は、医者です。

C: What does your father do?

あなたのお父さんは、仕事は何をされていますか。

D: He is an engineer.

彼は技術職です。

冠詞の ‘a’ や ‘an’ は、常に職業名の前に置かれます。

Drill 10

日本語の意味に応じて, 誤りを正しましょう。

あなたのお仕事は、何ですか。

1. What is your job?

私は銀行員です。

2. I am banker.

あなたのお母さんのお仕事は、何ですか。

3. What is your mother's job?

彼女は建築家です。

4. She is architect.
